

1月～3月の療育内容（児童発達支援）

季節の遊び

1月上旬には自由遊びで福笑いやこま回しなどを行いました。総合クラスでは自分で好きな絵を描いてぶんぶんごまを作って遊びました。就学準備クラスではかるたを自分たちで考えて作り、お友達同士で協力して遊ぶことが出来ました。2月には節分で鬼退治をしました。怖がる子ども達もいましたが、大人と一緒に参加することが出来ました。



福笑い



ぶんぶん
ごま



かるた
遊び



節分

運動遊び

身体を動かす活動として、マット遊びやバランス遊びを行いました。マットの上をどんぐりになりきってころころ転がったり、平均台の上を両手でバランスを取って渡ったりしました。総合クラスでは指先を使う紙コップ積み遊びも取り入れました。また感覚運動クラスでは長縄跳びを取り入れ、練習を続けることでタイミングよく長縄を潜り抜けることができるようになりました。



紙コップ
積み



マット
遊び



バランス
遊び



長縄跳び

集団遊び

1年の集大成として、しっぽとりやじゃんけん遊び、転がしドッチなど、ルールのある遊びをたくさん行いました。SSTなども取り入れたりして、ルールを守って楽しく遊ぶことが出来るようになりました。また、総合クラスでは『大きなかぶ』の劇遊びを行いました。お話の流れに沿って役を演じ切ることが出来ました。



しっぽとり



じゃんけん
遊び



大きなかぶ

転がし
ドッチ



制作

季節にあった制作も行いました。節分の時期には折り紙や段ボール紙を使って恵方巻を作ったり、クレパスや絵の具を使って鬼の絵を描きました。図画工作クラスでは月に1回、粘土を使った活動も取り入れています。年度末にはみんなで協力して1つの作品を仕上げることに挑戦し、とても素敵な絵が出来ました。



恵方巻



鬼の絵



粘土



共同制作